

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.8</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.47	<b>3.0</b>	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.47	<b>3.0</b>	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	0.86	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.14	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.07	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.8</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.3</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>2.7</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.56	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.33	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		1.0	0.12	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.1</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>1.9</b>	0.39	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光率	住戸部分の昼光率が2.0以上である。	1.0	0.53	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.47	3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.26	<b>4.0</b>	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	庇、カーテンにより、制御している。	3.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.13	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>1.0</b>	0.22	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.4</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.5</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.57	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	内装材及び天井裏等にF の建材を採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.37	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.47	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.06	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.47	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>2.0</b>	0.07	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.4</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00			<b>1.9</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.08	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.08	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	0.85	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		1.7	0.14	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.08	-	-			
3 内装計画		1.0	0.79	1.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>2.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.6</b>	0.31	-	-			<b>2.6</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.2</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		1.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		2.6	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	1.5	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		2.3	0.29	2.3	1.00	2.3
3.1	空間のゆとり		1.6	0.11	1.6	0.50	
	1	階高のゆとり	2.1	0.60	2.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.11	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		2.3	0.78	-	-	
	1	空調配管の更新性	1.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	1.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.1
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	1.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.0
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1	建物の熱負荷抑制	「建築物の外壁・窓等を通しての熱損失の防止」について、基準100点に対して、事務所部分は175点である。	3.2	0.37	-	-	3.2
2	自然エネルギー利用		2.6	0.20	-	-	2.6
	2.1	自然エネルギーの直接利用	2.3	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	LED照明を採用し、省エネルギー化を図っている。	3.9	0.37	-	-	3.9
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.3		-	-	
							ERR=57.1%
4	効率的運用		3.0	0.07	-	-	3.0
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.0	0.15	-	-	3.0
	1.1	節水	3.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.88	-	-
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.12	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		2.5	0.63	-	-	2.5
	2.1	材料使用量の削減	3.0	0.07	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.24	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.68	-	-	
		1	消火剤	-	-	-	-
		2	発泡剤(断熱材等)	-	-	-	-
		3	冷媒	3.0	1.00	-	-
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が、参照値に対して73%である。	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.5	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-
		3	交通負荷抑制	1.0	0.25	-	-
		4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-
3	周辺環境への配慮		2.6	0.33	-	-	2.6
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	3.0	1.00	-	-
		2	振動	-	-	-	-
		3	悪臭	-	-	-	-
	3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制	3.0	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-
		2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-
	3.3	光害の抑制	1.0	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0	0.70	-	-
		2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	1.0	0.30	-	-